鹿児島市立桜丘中学校
令和５年９月１日

第５号
「ガリレオ」

校長　上久保大介

２学期が始まりました。来週から３年生**「共通テスト」**、１・２年生**「夏休み明けテスト」**を皮切りに**「修学旅行」**、**「集団宿泊学習」**、**「職業人に学ぶ」**が続き、その後は**体育大会**、**文化祭**など、大きな行事が立て続けに行われます。１年間で最も忙しいこの時期を行事に追われることなく過ごしてほしいと思います。

さて、まだまだ暑い日は続きますが、これから季節は秋に移り変わり、やがて空は高く見えるようになります。そんな空を見上げると**太陽や月、星々が回っているように見えます**。そのような様子を見て、昔のヨーロッパの天文学者は**「地球は宇宙の中心にあり、太陽や月、星は、この地球の周りを回っている」**と考えました。いわゆる**「天動説」**です。この考えは紀元２世紀の**プトレマイオス**から16世紀の**コペルニクス**の登場まで長きにわたり信じられてきました。コペルニクスは**「地球も他の惑星もすべて太陽の周りを回っている」**とする考え方、いわゆる**「地動説」**を唱えました。これを追う形で、**ガリレオも「地動説」**を唱えました。彼は細かな天体観測や実験により「天動説」の矛盾や曖昧な部分を指摘し、自らの考えが正しいことを証明していきました。しかし、そのことにより、「天動説」を唱える天文学者やローマ・カトリック教会により宗教裁判が開かれ、ガリレオは**「地球が太陽の周りを回っている」という言葉を封じられた**とされています。ただし、これは、最近の研究ではいろいろと誤解があると考えられており、言葉を封じられたのは事実ですが、実際には政治的陰謀や教会の派閥争い、聖書の解釈、ガリレオの友人であったローマ教皇とのいさかいから起こった結果であると考えられています。いずれにしても、それ以降**ガリレオは軟禁生活を送る**ことになり、失意のうちに亡くなったわけです。（詳細については諸説あるようです。）

ガリレオの死後350年目の1992年、ローマ教皇ヨハネ・パウロ２世はガリレオ裁判の誤りを認め、公式に謝罪しました。

以上の話から、多くの人はガリレオを不憫に思うでしょう。私もそうです。が、私は、それ以上にガリレオに罵声を浴びせたであろう人たちに対しても、不憫な思いを抱きます。これまで自分がやってきた研究は間違えており、無駄だったと知ったとき、どれだけ愕然とし絶望を覚えたか。亡くなったガリレオに対して詫びることさえできず、新たな道に進むこともできず、やがて人心は離れていくであろう状況はあまりにも残酷です。

ガリレオとこれらの人々との違いは何か。それはただ１点のみです。**先入観にとらわれず、緻密な観測と実験、正確な計算と深い考えから、科学的な根拠を見つけ、真実を導き出すことができたか否か**です。直感と勘は大切です。しかしそれを裏付けるのは、**正しい努力の積み重ね**です。勉強にしても、スポーツにしても、芸術にしても全てに通じることです。